

2. 財政状態に関する定性的情報

当第2四半期会計期間末における連結ベースの総資産額は、前年度末比9,222億円減少し111兆338億円となりました。また、純資産は前年度末比337億円増加の5兆2,577億円となりました。そのうち株主資本は、中間純利益の計上及び剰余金の配当等の結果、前年度末比203億円増加の3兆1,156億円となっております。

主要な勘定残高としましては、預金が前年度末比8,925億円増加し73兆5,831億円となり、貸出金は同1兆3,329億円増加し63兆4,778億円となりました。このうち、三井住友銀行単体の貸出金は、海外で高格付け企業への貸出を積極的に行ったことを主因として、前年度末比1兆5,841億円増加し58兆5,420億円となっております。

また、連結ベースの金融再生法に基づく開示債権の残高は、前年度末比3,365億円増加の1兆4,691億円となりました。不良債権比率は前年度末比0.43%増加して2.04%となりましたが、引続き低水準を維持しております。